

春に向けて、真冬から始まる！ 総合道路エンターテインメント写真誌

# Road Japan View 第1号

特集1 雪道巡礼 山と海 南会津と親不知

特集2 神奈川の山道 道路名勝を巡る

特集3 はたらくクルマの四季、そして夜

≫連載

旧道を訪ねて：群馬原町 大ケヤキのある交差点

廃道探訪：群馬県 国道462号 鬼石橋

ロードサイドの光景：国道17号 新大宮バイパス

街並みは、夜輝く：群馬県 中之条町 純白は色鮮やかに

# Road Japan View とは？

目的地に到着するための手段に過ぎなかった道路。  
とある日から、道路そのものが被写体になりました。

自分が写真を撮り始めたのは2003年頃。撮影していたのは殆ど廃道、時々旧道でした。  
どんな道路でも車を降りて撮り始めたのは2011年頃。バイパス、都市道路、高速道路、観光道路、そして被災地の道。  
その魅力の一つ一つを切り取るのは、なかなかの難事業でした。

走行中の一瞬にしか見えない景色があります。  
歩道橋の上に登り、超望遠で初めて見つけられる景色があります。  
カーブの先端まで移動し、道路の中心に目線を合わせ、初めて見える景色があります。

標識、通行車両、道路の線形、周囲の地形、背景の景色、時刻、天候、そして季節。  
2つの条件、もしくは3つ以上の条件が一致したときだけに現れる景色。

宝探しにも似た、「日本の道路の絶景探し」  
その魅力を、この写真誌にて伝えることが出来ましたら幸いです。

発行者、撮影者：RoadJapan のがな あつし Copyright (C) 2017 RoadJapan のがな あつし All Rights Reserved.

連絡先：master@roadjapan.info (サブアドレス naganagno2002@infoseek.jp) Twitter: @roadjapan

文章内容につきましては、誤りがあった場合は、RoadJapan オフィシャルサイトにて告知、および訂正させていただきます。

<http://www.roadjapan.info>

# 目次

## 特集1 雪道巡礼 山と海 南会津と親不知 P4-41 (体験版5ページのみ収録)



「雪道」の魅力を全力特集！

山は福島県会津地方から、海は新潟県日本海沿岸からお送りします。

## 特集2 神奈川の山道 道路名勝を巡る P42-56 (体験版3ページのみ収録)



ヨコハマのイメージからはとても想像できない神奈川県。

新旧の国道246号と東名高速が交差する道路名勝を紹介します。

## 特集3 はたらくクルマの四季、そして夜 P57-69 (体験版3ページのみ収録)



はたらくクルマは私たちの生活を支えるために、日夜走り続けています。

その勇姿を写真に収めました。

## 連載



### 旧道を訪ねて：大ケヤキのある交差点 P70-74 (体験版は2ページのみ収録)

旧きものと寄り添う、日本各地の旧道を旅する連載。今回は群馬県東吾妻町の旧国道145号線の大ケヤキのある交差点を紹介します。



### ロードサイドの光景：国道17号 新大宮バイパス P75-79 (体験版は2ページのみ収録)

バイパス沿いに建ち並ぶ量販店と、混み合う車の群れが作り出す光景を愛でる連載です。



### 廃道探訪：群馬県 国道462号 鬼石橋 P80-84 (体験版は2ページのみ収録)

廃道は、時折きわめて身近に存在します。現道のすぐ隣にある、廃道の断片を辿ります。



### 街並みは、夜輝く：群馬県 中之条町 純白は色鮮やかに P85-89 (体験版は2ページのみ収録)

高度経済成長期の余生を生きる、商店街の夜景を巡る連載になります。

# 特集1 雪道巡礼 山と海 南会津と親不知

道路写真誌、最初の特集は「冬の雪道」です。「山」は福島県は会津地方、主に南会津から。「海」は新潟県、主に親不知からお届けします。





大雪の中でも、しばし待てば必ず、雪に覆われた真っ白な視界が晴れる機会が訪れるものです。



猪苗代湖を離れ、南会津へ。国道118号にて会津若松を南下します。会津若松市内はしばらく拡幅された道が続きますが、市街地を抜ける間際で、ぐっと道幅が狭まります。



会津の雪道旅、最後の目的地は国道289号の甲子大橋でした。ここまで見事に、山のど真ん中を橋とトンネルで貫いていく道路の勇姿は、なかなか見れるものではありません。



続きまして「海」の章。親不知の国道8号からお送りします。決して南国ではありませんが、海面は見事なまでのエメラルドグリーンです。



海からは雪煙が吹き付け、洞門の奥のほうまで、真っ白に染めていきます。



そして国道8号で最も印象に残る橋が米山大橋です。完成当時の橋脚の高さは日本一と言われていました。現代ならば橋脚と桁が一体となったコンクリート製の桁橋となるでしょうし、真っ赤な鉄製でこの形状の橋は、今後二度と現れない形かもしれません。

# 特集2 神奈川の山道 道路名勝を巡る

ヨコハマのイメージからはとても想像できない、神奈川県がここにある！  
西部の山地には、新旧の国道246号と東名高速が縦横無尽に駆け巡る道路名勝があります。  
未収録部分を含む、番組にて訪問した道路の紹介になります。



トンネルにて峠を貫き、国道246号を東京方面に進みます。眼下には伊勢原の市街地、遠くには厚木の市街地までも見渡すことが出来る坂道が続いています。



トンネルの名前は新善波隧道。昭和38年に完成したにも関わらず、四車線の道路を飲み込めるほど道幅と、半円形の形状が特徴です。

# 特集3 はたらくクルマの四季、そして夜

はたらくクルマは私たちの生活を支えるために、日夜走り続けています。その勇姿を写真に収めました。





# 連載1：旧道を訪ねて 原町の大ケヤキのある交差点

## 群馬県 東吾妻町

旧きものと寄り添う、日本各地の旧道を旅する連載。今回は群馬県東吾妻町の旧国道145号線の大ケヤキのある交差点を紹介します。

# 連載2：ロードサイドの光景 国道17号 新大宮バイパス沿いにて

幹線道路の主役が、個人の商店が建ち並ぶ旧道からバイパス道路に移り変わることで現れたロードサイドの光景。バイパス沿いに建ち並ぶ量販店と、混み合う車の群れが作り出す光景を愛でる連載です。

# 連載3：廃道探訪 群馬県 国道462号 鬼石橋

山深くまで入り込まなければ巡り会えない廃道の景色が、すぐ隣に存在することがある。  
群馬県藤岡市鬼石の国道462号線の旧道。オーソックスなコンクリートの桁橋であった、旧鬼石橋。  
検索しても、架け替え決定時の資料中にしか、現役の姿が見つけれないほど、影の薄い存在であった。  
しかし今、橋が撤去され橋台上の道路のみが残った「途切れた道」の姿は、我々に力強くその存在を訴えてくる。

## 連載4：街並みは、夜輝く

# 群馬県 中之条町 純白は色鮮やかに

国道145号にて渋川方面から草津温泉に向かう際に、必ず通る街並みであつたこの道。現在はバイパスが開通しロードサイドには量販店も開店し、観光客も買物客も少なくなり、交通量は穏やかになった。しかし、かつてのメインストリートの栄光を物語るような街路灯は、2017年においても当時に近い姿のまま残っている。「街並みは、夜輝く」をテーマに2冊の写真集を出したが、再訪時には半数以上の街並みで魅力的な街路灯は撤去されて量産品に変えられてしまったという事実。そんな中、非常に貴重な街並みの光景を、大雪の日に訪れた。